

病害虫防除技術情報第4号

平成26年6月17日
三重県病害虫防除所

葉いもちの早期発見・早期防除に努めましょう

1. 対象作物：イネ

2. 対象病害虫名：いもち病(葉いもち)

3. 発生状況と今後の予測

(1) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率0%(平年0.03%)と平年並に少ない傾向でした。

(2) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)によると、6月11~12日に県内の広い範囲で感染好適条件が現れました(表)。6月下旬以降、本田での発病が確認され始めると予想されます。特に県中部(南伊勢、鳥羽)では、感染好適条件が繰り返し現れているため、注意が必要です。

(3) 1か月予報(6月12日・名古屋地方気象台発表)によると、平年と同様に曇りや雨の日が多い予想です。また、3か月予報(5月23日・名古屋地方気象台発表)によると、7月は平年に比べ曇りや雨の日が多く、降水量は平年並か多い予想であり、感染および流行に好適な気象条件が今後も続く予想されます。

表 いもち病発生予測支援システム(プラスタム)による葉いもち発生時期の予測

2014年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿
6/04	—	—	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—
6/05	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/06	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/07	—	●	—	—	—	—	●	○	—	—	—	—
6/08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/11	—	—	—	—	—	—	—	●	—	●	—	●
6/12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	●

● : 好適条件 (葉いもち発生の好条件が全て満たされた。)

○ : 準好適条件(葉いもち発生の条件が一部満たされた)

— : 好適条件・準好適条件は満たされなかった。

6月第4週には、広域的初発生時期(葉いもち流行の前段階)となる予想です

4. 防除対策

(1) 補植用の置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。

(2) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

(3) 葉いもち対象の予防粒剤の散布適期です。感染好適条件の現れた7~10日後に病斑が現れます。

(4) QoI剤(ストロビルリン系殺菌剤)を使用したにもかかわらず、ずり込み症状などの重篤な発病の場合は、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや、関係団体へ速やかにご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。